

日本最大級のデザイン&アートフェスティバル  
**DESIGNART TOKYO 2023**

開催まで1か月！「Sparks ~思考の解放~」をテーマに世界中からクリエイター・作品が集結  
 開催期間 10月20日（金）～10月29日（日）

**過去最大の108展示で東京の街全体がミュージアムに変貌**

世界屈指のミックスカルチャー都市、東京を舞台に、デザイン、アート、インテリア、ファッションなどが多彩なプレゼンテーションを開催する日本最大級のデザイン&アートフェスティバルDESIGNART TOKYO（デザイナー・トーキョー）。今年のテーマ「Sparks ~思考の解放~」のもと、108展示、83会場に世界中から作品・コンテンツが集結します。今年の注目作品や集合展など、ハイライトをご紹介します。

## DESIGNART GALLERY

### 最新のクリエイティブを堪能できる展覧会

参加ブランド・クリエイター：Muuto、SANLORENZO JAPAN（MOROSO・Paola Lenti）、Ambientec、RECONC、h220430 Satoshi Itasaka、Denis Guidone x Y.S.M.、Gwenael Nicolas、Tokio.、編阿弥、Original Kolor Design、WASARA

オフィシャル会場のひとつとなるエスコルテ青山ビルでは、デンマークの家具ブランド「Muuto」の魅力を活かしたポップアップストアを中心に、国内外から集まった注目のクリエイター達の最新のクリエイティブを堪能できる展覧会「DESIGNART GALLERY」を開催します。空間デザインには、2021年のUNDER 30にも選出された注目のデザイナー進藤篤氏を起用し、コロナ禍で大量に消費され、行き場をなくしたアクリル板を再利用したインスタレーションが、約500㎡の空間を彩ります。



Muuto



Utsuroi



Ambientec GALLERY ©Takumi Ota

会場では、灯りの質にこだわった日本のポータブル照明メーカー Ambientec が今年グランドオープンした、製品の体感ができる初の直営ギャラリー「Ambientec GALLERY」を会場内に再現し、既存のコレクションに加え4月のミラノサローネで発表した新作を国内初お披露目するほか、昨年メインエキシビションの空間を手掛けたデザイナー板坂諭による、今夏のベネツィアでの個展に合わせ、ムラーノ島で製作したガラス製の風船によるランタン、Denis Guidone が「移ろい」という言葉から着想を得てY.S.M.と共に製作したUtsuroiコレクションなど、多数のクリエイターやメーカーが作品を展示。また、SANLORENZO JAPANが展開するラグジュアリー空間を体感できる「SANLORENZO LOUNGE」では、世界的デザイナー、パトリシア・ウルキオラが手掛ける家具ブランド“MOROSO”や、ヨットのアウトドア・ファニチャーとして起用される“Paola Lenti”を特別展示します。



SANLORENZO Lounge



**DESIGNART GALLERY 空間デザイナー 進藤 篤**  
 東京藝術大学大学院デザイン専攻課程修了。インテリアデザイナーとしてホテル・オフィス・商業空間等のデザインに携わる。個人プロジェクトでは、より無垢な眼差しを起点に、空間・インテリアオブジェクト・アート作品等、多岐にわたる作品を発表。

会場：DESIGNART GALLERY  
 東京都港区北青山2-7-15 エスコルテ青山  
 11:00 - 19:00（20日のみ18:00まで）

# ASIA CREATIVE RELATION

## Powered by THE LIONS

### アジアから未来のスターデザイナーが集結

毎年時代の先を行くテーマを設け、注目を集めるDESIGNART TOKYOのオフィシャルエキシビション。今年には2050年という未来を見つめ、アジアの未来のスターデザイナーが集結する展示「ASIA CREATIVE RELATION」を開催します。本展示のゲストキュレーターは、アジア太平洋地域のデザインに特化したメディア「Design Anthology」の編集長Suzy Annetta氏。アジアのクリエイターに精通し、独自にAWARD運営も行っている彼女の豊富な知見とネットワークを活かし、本展にふさわしいアーティスト・作品をキュレーションします。

#### テーマは「A NEW HORIZON」ー 2050年のライフスタイルインテリアを見据える

DESIGNARTが2021年からアジアの文化交流プラットフォームづくりとして取り組みを行ってきたなかで、大きな一歩となる本展のテーマは「A NEW HORIZON」。アジアを代表するクリエイターへと成長が期待される独創性の高い家具やアートが揃います。



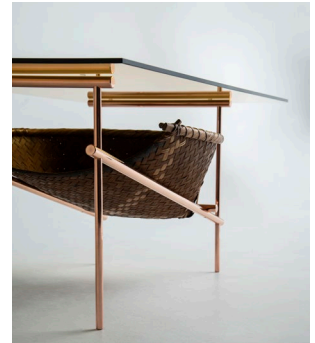
Dongwook Choi



we+



Heekyung Sul



Ryosuke Harashima

#### 作品展示クリエイター ※アルファベット順

AtMa (日本) / Bumki Song (韓国) / CLEVERCLAIRE (韓国) / Curiosity (日本) / Dongwook Choi (韓国) / Funi Ding (香港) / Jingjin Naihan Li (中国) / Kairo Kusamoto (日本) / Kodai Iwamoto (日本) / OPEN OBJECT (中国) / PAN-PROJECTS + REMARE (日本) / Ryosuke Harashima (日本) / SDANLEY DESIGN WORKS (台湾) / Shizuka Tatsuno (日本) / Studio Orijeen (韓国) / Studio Osoh (韓国) / Takuto Ohta (日本) / Yosuke Matsushita (日本) / we+ (日本) / Zougei Hiroyuki Nishimura (日本)

#### 「THE LIONS」の大京が見据える新しい暮らしのビジョンを初公開

55年間、日本全国へ分譲マンション「ライオンズマンション」を提供してきた株式会社大京は2023年4月、「ライオンズマンション」から「THE LIONS」へリブランドを行うことを発表。現在、建築家の豊田啓介氏とともに「2050年の人生を豊かにする究極のレジデンス」を追求する活動に取り組んでいます。そんな中、未来に残るデザイン・クリエイティブを見つけ出し、発信していく「ASIA CREATIVE RELATION」の取り組みに共感いただき、本展に参画いただきました。「変化の時代に「THE LIONS」が考える新しい暮らし」のビジョンを表現するブースを設置し、DESIGNART TOKYO2023にて初公開します。

会場は、インキュベーションスペースとして知られ、青山通り(246)に面した全面ガラスのファサードを持つワールド北青山ビル1階。多くの美術空間デザインに携わってきた建築家石田建太郎氏による空間構成も必見です。

Suzy Annetta  
©Gavin Green

**Suzy Annetta** (スージー・アネッタ)  
DesignAnthology編集長。2014年の創刊以来、アジア地域全体で高い評価を得るデザイン雑誌。2018年にヨーロッパ版、19年にオーストラリア版を創刊。20年初頭Thames & Hudsonとのコラボレーションで初の長編書籍を出版。

<https://design-anthology.com/>

## THE LIONS

会場：ワールド北青山ビル 東京都港区北青山3-5-10  
10:00-18:00

## 作品との出会いや感動をつなぐ注目の集合展

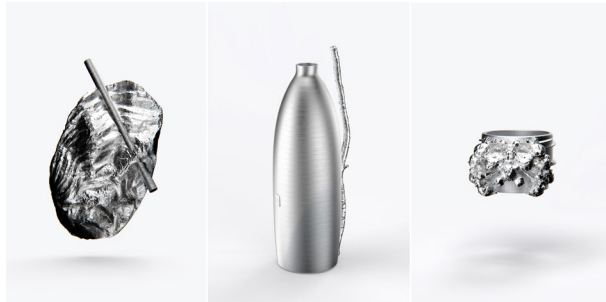
## TIERS GALLERY

## 独自の思想で創造された繊細な作品群

ホウジョウアキラ・マエダリョウマ オザワマサト

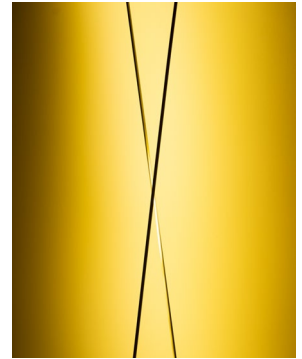
参加クリエイター：Gala Espel/UNDER 30、So Tanaka/UNDER 30、北條 英・前田 怜右馬、小澤雅都

緩やかに街から内部へと導く大階段が特徴の、建築家・田邊曜設計による「TIERS」3階にあるTIERS GALLERY（ティアーズギャラリー）では、UNDER 30のクリエイター2名を含む4名の作品を展示。Gala Espel（UNDER 30）による、熟練の技と最新のテクノロジーを融合し、過去と未来をつなぐことで繊細で幻想的なフォルムを与え生命を吹き込んだ作品「Archaeology of the Future」や、So Tanaka（UNDER 30）の「周囲を照らし、自らも光の中に消えていく照明」という発想をもとに「意識」や「関係性」に主眼を置いた新たな照明作品vnsh（ヴァニシュ）、北條 英と前田 怜右馬による「重力」を共通のテーマに「照明」と「革靴」を用いて行うインスタレーション展示や、小澤雅都による、古代日本の精神性をみつめ、精神から自然と



© Gala Espel

一体となる、新たな茶道の形を創り出す「自然台-SHIZENTAI-」など、作品の取り組みへの思想の入口が特徴的で繊細な作品が揃います。



So Tanaka

会場：荒川技研工業株式会社 本社・表参道ショールーム  
「TIERS」3F 東京都渋谷区神宮前5-7-12

## 日比谷OKUROJI

## 個性あふれるインテリアプロダクトが一同に

トッサネ

参加クリエイター：HONOKA、tossanaigh、谷川木工芸×MASATO SUZUKI DESIGN、  
ELD INTERIOR PRODUCTS、Yojiro Hikihara (COLOR & WONDER)



HONOKA

100年以上経った今もなお、現役で使用されている煉瓦アーチが印象的な日比谷・銀座の奥にひそむ「日比谷OKUROJI」。その300m続く高架下空間に、個性あふれるインテリアプロダクトが集結します。約40坪の大空間では、サローネサテリテアワード2023 1st Prizeを受賞したデザインラボHONOKAによる、量で現代の暮らしに編み直すプロジェクト「TATAMI ReFAB PROJECT」が凱旋展示を行います。時代を重ねた高架下の空間と、作品の融合も見どころです。

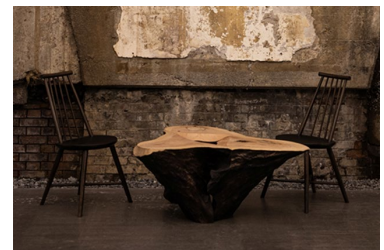
山で放置されている、伐根された切株の美しい木目を生かしたtossanaighによる家具シリーズ「KU-TEN。」(クテン)は、かつて神社仏閣の天井に使われるなど重宝されていた「根鉢」に新たな命と最後の居場所を与えるプロジェクトで、唯一無二の作品が並びます。



谷川木工芸×MASATO SUZUKI DESIGN

その他、谷川木工芸の桶職人、谷川清とデザイナー鈴木正人のコラボレーションから生まれた、材料をロス無く使いきる製法を見える化した新しい讃岐桶樽のデザインによるソファ、テーブルライト、花瓶プロダクトシリーズ「MOBIRAKA」や、岡山を拠点とする家具ブランド「ELD INTERIOR PRODUCTS」による森と地場産業との関係を再構築するプロダクト[ELD' s Social Crafts]を発表。COLOR & WONDERという新しいブランドからは、カラーMDFという木質素材をデジタル加工して作る2TONE stoolと新作チェアのプロトタイプを展示します。

多品種・適量生産できるミニマルな製造方法により、200通りの色の組合せが可能です。



tossanaigh

会場：日比谷OKUROJI (オクロジ)  
千代田区内幸町1-7-1

## 作品との出会いや感動をつなぐ注目の集合展

西武渋谷店 モヴィーダ館7階＝特設会場  
実験的なアイデアとデザイン

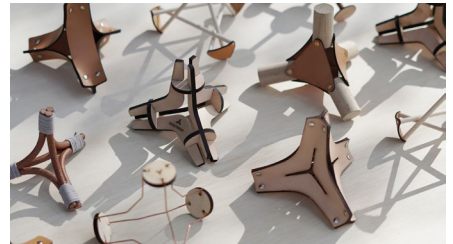
参加クリエイター：Nomadic Collective、PHAT、Masafumi FUTO、Nyokki

渋谷の公園通り沿いにあるMOVIDA館7階スペースでは、実験的なものづくりの PRODUCTS を中心とした展示を開催します。Nomadic Collectiveによる展示「Things with dialogue」は、PRODUCT デザイナーの4人がその枠組みを超えて「ものをつくる」ことの意義を見つめ直し、実用的・実



Nomadic Collective

験的に形にすることを試みたオブジェクト・家具を発表します。また、アートとデザインの視点から制作活動をするデザイナー風当将文による、様々な素材・手法で複数の消波ブロックのオブジェを作成、力の均衡のとれた美しい構造を模索する「FIXED TETRAS」や、



風当将文

業種の異なるメンバーが、それぞれの視点から実験的な制作活動を行うデザインチーム”PHAT”が、使われなかった余剰資材の、有り余る可能性を拾い上げて、インテリアピースとしての新しい価値を探求したシリーズ「wake(up)」を発表します。その他、Nyokkiは新作「hoop being」を発表。糸で編まれた巨大な輪っかが、自在に形状を変容させる様は、まるで生き物のよう。ラグになり、クッションになり、人との関係性の中で柔らかかうごめく「ペットの家具」を展示します。

会場：西武渋谷店 モヴィーダ館7階＝特設会場 東京都渋谷区宇田川町21-1

## TOKYO MIDTOWN (六本木)

東京ミッドタウンでは「DESIGN TOUCH」開催期間中、  
「いざなうデザイン -Draw the Future-」をテーマに3組のクリエイター作品を展示

トゥーワンピーススタジオ

## 21B STUDIO (UNDER 30) /ink couture project

有村大治郎・コエダ小林・時岡翔太郎の3名によるデザインスタジオ。オフセット印刷機の廃インク清掃で使用した不織布を新たな素材として捉え、その可能性を見出すデザインプロジェクト。素材の成り立ちを「印刷」と「染め」の両側面を持つ「印刷染め」という新たな着彩方法として定義し、その魅力を探究したPRODUCT を発表します。

会場：東京ミッドタウン ガレリア 2F Aēsop前 会期：10/6-10/29



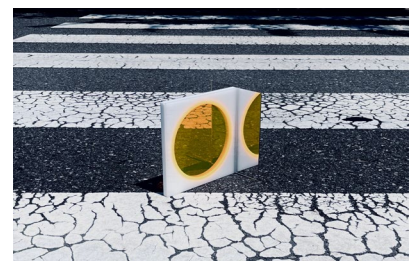
ink couture project photo by Daijiro Arimura

## 守本悠一郎/NISSHOKU

これまで電力とは切り離せないものであった「照明」。その常識に一石を投じるべく、周囲の光を集めることで実現した作品「NISSHOKU」を展示します。電池も電源コードも付いていませんが、誰もが「光っている」と感じる事ができる作品です。

会場：東京ミッドタウン ガレリア 2F Lucien pellat-finet前/横

会期：10/6-10/29



NISSHOKU



Nature or Nurture

## 田渡大貴/Nature or Nurture

流木の持つ「山と海の両方の時間を内包する複雑なプロセスを備えた素材」という独立した素材観に着目し、新たなテクスチャーとして実験応用したスツールや、椅子、テーブル等のPRODUCT を製作・展示します。

会場：東京ミッドタウン ガレリア 3F IDÉE SHOP/IDÉE CAFÉ PARC前

会期：10/6-10/29

東京ミッドタウン 東京都港区赤坂9-7-1

## FASHIONとARTの融合空間

エルメス財団によるエコロジー：  
循環をめぐるダイアログ 「新たな生」  
崔在銀（チェ・ジェウン）展

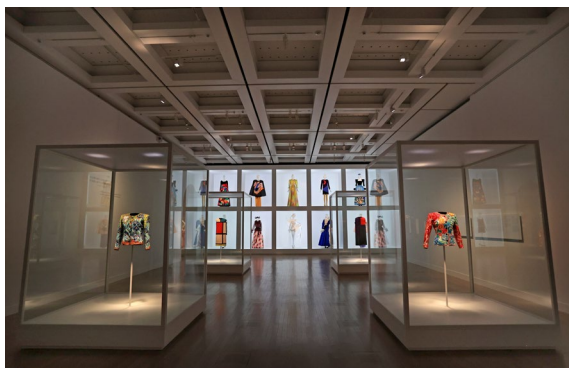
銀座メゾンエルメス フォーラムでは、アートにおけるエコロジーの実践を問う「エコロジー：循環をめぐるダイアログ」展を開催します。ダイアログ 1の「新たな生」崔在銀（チェ・ジェウン）展では、環境や自然との対話を継続してきた一人の作家、崔在銀（1953年韓国・ソウル生まれ）の40年に亘る実践を、過去作と新作を織り交ぜながら個展形式で振り返ります。

期間：10/14 ~ 2024 1/28

会場：銀座メゾンエルメス フォーラム 東京都中央区銀座5-4-1



Photo: Yasushi Ichikawa



イヴ・サンローラン展 時を超えるスタイル 展示風景

国立新美術館  
イヴ・サンローラン展 時を超えるスタイル

国立新美術館では、イヴ・サンローラン美術館パリの全面協力を得て、没後日本で初めてのイヴ・サンローランの大同回顧展を開催します。ルック110体のほか、アクセサリ、ドローイング、写真を含む262点によって、12章構成で余すところなく紹介する展示となっています。

期間：9/20 ~ 12/11

会場：国立新美術館 東京都港区六本木7-22-2

セリーヌ 表参道  
セリーヌ アートプロジェクト

今年7月にエディ・スリマンによる新しい建築デザインコンセプトによって、地下1階から地上2階までの3フロアに増床し、タイムレスな空間としてリニューアルオープンしたセリーヌ表参道。最高級の天然素材を使用し、バランスの取れた巨大な彫刻のような空間には、セリーヌ アートプロジェクトの展開が拡大され、クリス・サッコやジョン・アイザックスによる絵画、A カッセン、デイヴィッド・ナッシュ、エリザベス・アターベリー、キャメロン・プラッターによる彫刻など、コンテンポラリーアートの数々が加わり展示されています。

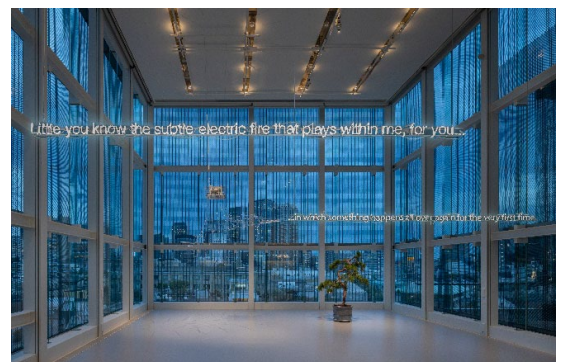
会場：セリーヌ表参道 東京都港区北青山3-5-29

エスパス ルイ・ヴィトン東京  
CERITH WYN EVANS個展「L>espace)(...」展

エスパス ルイ・ヴィトン東京では、ウェールズ出身のアーティスト、ケリス・ウィン・エヴァンスによる個展「L>espace)(...」を開催。フォンドシオン ルイ・ヴィトンがオープンする前の2007年に収集されたコレクションを中心に、写真的イメージやテキスト、光、音、ビデオなどを通じて、空間における形の顕在化について探求した作品を展示します。また、10/27・28にはDESIGNART TOKYO主催によるワークショップを展開予定です。

期間：~ 2024 1/8

会場：エスパス ルイ・ヴィトン東京  
東京都渋谷区神宮前5-7-5 ルイ・ヴィトン表参道ビル 7F



Courtesy of the artist and Fondation Louis Vuitton, Paris  
Photo credits: © Jérémie Souteyrat / Louis Vuitton

## FASHIONとARTの融合空間

### シャンパーニュメゾン「ペリエ ジュエ」がフェルナンド・ラポッセとのコラボレーション作品「SEEDS OF LIFE」を初公開

エミール・ガレがアネモネの花を描いたボトルによって“シャンパーニュの芸術品”と称されてきた「ペリエ ジュエ」は、創業当時より大切にしてきたアートの理念により、時代を彩るアーティストたちとのコラボレーションを生み出しています。2023年はメキシコのアーティストでありデザイナーのフェルナンド・ラポッセとのコラボレーションを実施。今作品でラポッセは、受粉をはじめとする生態系における一連の驚くべき関係において、花が果たす重要な役割に焦点を当て、インスタレーション「SEEDS OF LIFE」を制作。このインスタレーションを通じて、自然をあらためて見つめ直すことの重要性を提唱しています。

会期：10/12～10/29 ※10/20は一般非公開  
会場：WITH HARAJUKU 1F/2F 渋谷区神宮前1-14-30



### ミントデザインズ青山店「CORNER GALLERY」× Leo Koda (UNDER 30)

ミントデザインズ青山店内に今年8月プレオープンした「CORNER GALLERY」にて、UNDER 30選出のLeo Kodaが作品展示を行います。3Dプリントならではの「インフィル」という内部構造に着目し、ユニークな色と形を生み出すプロジェクト「In Fill Out」の新作を発表します。会場では、ミントデザインズの23年秋冬テーマに合わせた、コラボレーション作品を展示販売予定です。

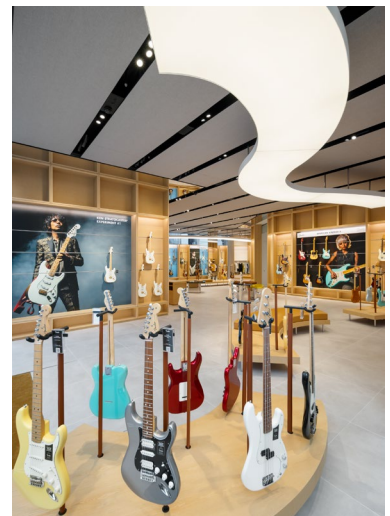


会場：ミントデザインズ青山店  
東京都渋谷区神宮前5-49-5

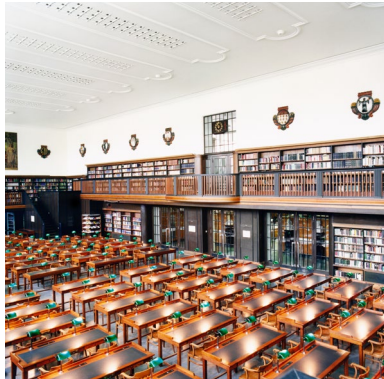
### FENDER FLAGSHIP TOKYO Fender Pick Tables

今年6月に東京・原宿にオープンした楽器メーカーFenderの世界初の旗艦店「Fender Flagship Tokyo」。楽器店としてだけでなく、新しい音楽文化の情報拠点としても注目を集める同店では、ギターピックにインスパイアを受けてデザインされたクライン ダイサム アーキテクト監修のテーブルシリーズ“Fender Pick Tables”が展示されています。

会場：FENDER FLAGSHIP TOKYO  
渋谷区神宮前1-8-10 B1-3F



## ART 注目の展覧会でアートを堪能



Deutsche Bücherei Leipzig XI 1997,1997, C-Print,  
85.0 x 85.0cm

### ペロタン東京 ジャン＝フィリップ・デローム visage(s)

ペロタン東京では、ギャラリー初となるジャン＝フィリップ・デロームの個展を開催し、パリのアトリエで古典的なポーズをとったモデルたちを描いた一連の新作肖像画を発表します。デロームの絵画プラクティスは、写真を介することなく被写体を直に観察するものですが、写実性よりもむしろ、画家とモデルとの視線の交換に関心をもっているデロームは、写真が発明される以前の肖像画から脈々と流れる伝統を受け継いでいます。

会期：8/31～11/5 会場：ペロタン東京 東京都港区六本木6-6-9 ピラミデ1F



View of the exhibition "visage(s)" at Perrotin Tokyo.  
Photo by Keizo Kioku. Courtesy of the artist and Perrotin.



Keisuke Tada, Painting of incomplete remains #116, 2023, oil, acrylic, and pigment on canvas, 33.6 x 24.5 x 5.0 cm



Keisuke Tada, trace / dimension #52, 2023, Acrylic, oil paint, wooden panel, cotton cloth, 162 x 130.3 cm. Photo by Arito Nishiki. Courtesy of Gallery COMMON.

### MAKI GalleryとGallery COMMONで 多田圭佑個展を同時開催

愛知県を拠点に活動するアーティスト多田圭佑の個展を、MAKI Gallery / 表参道では「Phantom Emotion」、Gallery COMMONでは「Rhizomed Material」と題し、両ギャラリーにて同時開催します。「Phantom Emotion」では《Paintings of incomplete remains》および《Heaven's Door》シリーズから作品を展示。両シリーズには、フィクションの世界と関わりたいという欲望や希望、同時に二つの世界に存在する確固とした断絶を突きつけられる切なさや孤独感が共存します。「Rhizomed Material」では《trace/dimension》シリーズの新作を展示。タイルや木製の床板、金属製の引き出しや鎖などがグリッチ状に組み合わせられて見える立体的な作品は、実際にはアクリル絵具のみに

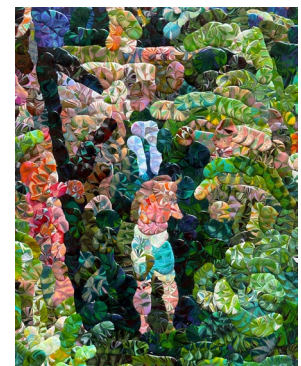
よって作られています。その類まれなる技術と発想で作り出す多田の、両展合わせて約100点を超える新作のペインティングで構成されるこのプロジェクトは、これまでで最も大規模な展示となります。

MAKI Gallery / 表参道, 東京 東京都渋谷区神宮前4-11-11 (会期: 9/30～11/8)  
Gallery COMMON 東京都渋谷区神宮前5-39-6 B1F (会期: 9/30～11/5)

### MA5 GALLERY by SANLORENZO では 「PATTERN STROKE - 模様の筆跡 -」展を開催

常に進化し続けるアート、デザイン、インテリアを発信するプラットフォームとして、SANLORENZO JAPANが設立した注目のギャラリー「MA5 GALLERY」では、様々なパターンを使った独自の絵画様式を追究する画家、福津宣人の作品を展示します。模様で出来上がったパーツを貼り合わせて描く手法「PATTERN STROKE」の作品を中心に、作家が旅先で見たさまざまな景色を描いた作品を展示予定です。

会期：10/13-11/5 会場：MA5 GALLERY 東京都港区南青山5-10-17



Night Shower

## INTERIOR インテリアブランドによる新作やプレゼンテーション

### Roche Bobois 新作ダイニングテーブル 「IROISE」

フランスを代表するインテリアブランド「ロッシュ ボボア」は、まるで水上にいるかのような、美しい虹色の輝きを放つガラストップの新作ダイニングテーブル「IROISE」を中心に、人気アイテムを展示予定です。ロッシュ ボボア独自の世界観を堪能いただけます。

住所：Roche Bobois TOKYO 東京都渋谷区神宮前3-35-1 1F・2F



### Artworks for ROLF BENZ TOKYO

ドイツを代表する高級家具ブランド「ROLF BENZ」を彩る気鋭のアーティスト5名による展覧会「Artworks for ROLF BENZ TOKYO」を開催。石川将士・伊東春香・大社カリン・大谷陽一郎・杉山佳の作品が、日本で唯一のフラッグシップショップ ROLF BENZ TOKYOに集います。また、ロルフベンツの新作家具も同時に発表予定。活躍の場を広げる5名の上質なアート作品を展示します。

会期：10/20 ~ 11/3

会場：ROLF BENZ TOKYO 東京都港区南青山6-4-6

### Knoll New products

モダンファニチャーを代表するノルでは、2022年のミラノ・サローネで発表されたアントニオ・チッテリオのデザインによるクリスマスコレクション、ピエロ・リッソーニによるパノラミックコレクションが日本初展示。オフィスラインからは、マーク・ニューソンの革新的なデザインのニューソンタスクを展示いたします。

また、初日の10/20（金）17:00からはカクテルパーティも開催します。

会期：10/20 ~ 10/28 会場：ノルジャパンショールーム 東京都港区北青山1-2-3



### Artek and Formafantasma Introduce "Wild Birch"

フィンランドのインテリアブランドのアルテックと、イタリアのデザインスタジオのフォルマファンタズマは、森林の現状を調査し「Wild Birch」という新たな木材選定基準を開発。Artek Tokyo Storeでは、今後さまざまな製品に適用されるWild Birchを用いた、特別モデルと新定番モデルの「スツール 60」を展示販売します。10/19にはフォルマファンタズマのオンライントークも。

会期：10/18 ~ 11/13

会場：Artek Tokyo Store 東京都渋谷区神宮前5-9-20



### STELLAR WORKS UNVEILS ITS NOVEL PRODUCTS AND NEW SHOWROOM

今年5月にニューヨークで開催された NYCxDESIGN 2023で発表した新作をはじめクリエイティブ・ディレクター Neri & Hu を中心とした著名デザイナーによる作品をお披露目します。異なる国や地域、文化や価値観を結び、現代的な視点で再編集した Stellar Works独自の世界観にご期待ください。

会場：東京都港区北青山1丁目2-3 青山ビル2階



## 日本の伝統工芸の新しい解釈



©shun kawakami

## artless + ryokuensha + griffon | 石庭

日本に古来から存在する庭園文化、そして現代アートとデザインを融合させ、新たな世界観を発信するインスタレーション「石庭」を開催します。江戸城の城壁にも使われた、天然石の本小松石と苔玉を組み合わせ、置くだけで石庭の世界観を感じることができるインテリアグリーンプロダクトのsekitei (PIANTA×STANZA / 緑演舎) や、この sekitei を用いてつくられた4×1mの箱庭、壁面には屏風絵の如く銀箔をベースに描かれた4枚つづりの日本画的グラフィックアート (shun kawakami / artless) が融合がし、訪れた人を時代を超える体験へと誘います。

(クリエイター：川上シュン／大山雄也／齊藤貴史)

会場：東京都渋谷区神宮前4-11-14 カメリアコート101

「紫舟展～伝統表現を超えてゆく～」  
at Poltrona Frau Tokyo Aoyama

伝統と品格を受け継ぐ、イタリアのラグジュアリーインテリアブランド Poltrona Frau (ポルトローナ・フラウ) Tokyo Aoyamaでは、世界的に有名な書家・芸術家の紫舟(シシユ)による、浮世絵・書・日本画の伝統表現を新しい斬り口で再構築した作品シリーズを展示します。

会期：10/19～11/7

会場：Poltrona Frau 東京都港区南青山 5-2-13

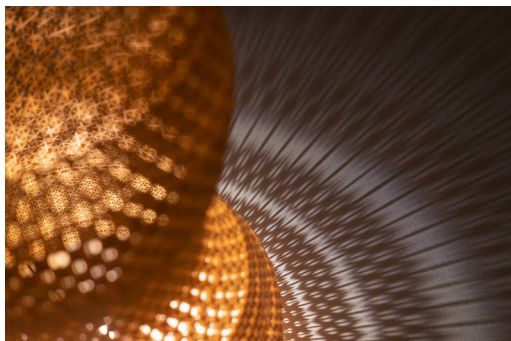


Photo by Noriaki Ito

## アセミコ 日本の焼き物

ドイツ生まれ・育ちのYuki Ishiguroと、ドイツ出身のLars Amhoffによるアセミコは、日本の伝統職人の知識と才能を次の世代に伝えることをミッションとしています。今回、日本の各産地の焼き物の職人にアセミコのシンプルなデザインのカップの製作を依頼して、長い伝統を持つ日本の工芸品を現代的なデザインと組み合わせています。カップの形を揃えることで各地の焼き物で使われている土と釉薬や製法の違いの面白さを楽しむ展示となっています。

会場：東急プラザ 渋谷3F 「ポップアップスペース111」 東京都渋谷区道玄坂1-2-3



© Hinako Yoshida

## 鈴木舞 個展「未知を組む組子」(UNDER 30)

“粧”の宿る伝統工芸「組子」を通じて「真の豊かさとは何か」を問う。組子職人のもとで技術を学び部品を3Dモデル化。伝統工芸とテクノロジーを組み合わせ、未知なる可能性をデザインする。【「未知」を組む組子】テーマに、「ファッション」を単に肉体を飾る(衣)でなく、着る人や作り手の生き様を表現するライフアートのような存在と捉え、「組子」を通じてライフアート=ファッションとして表現します。

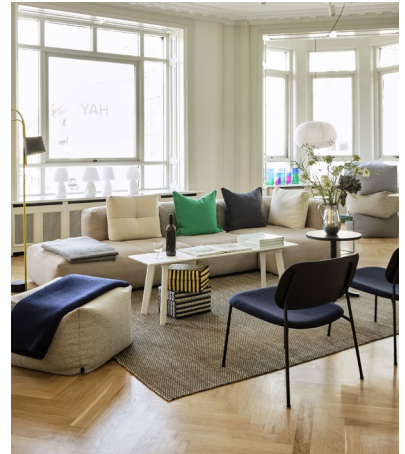
会場：JIDA Design Museum in AXIS  
東京都港区六本木 5 - 17 - 1 AXISビル 4F

## 日本・東京の伝統と革新を感じる「東京駅周辺エリア」

今年から新たに開催場所としてエリアを拡大した東京駅周辺（丸の内／京橋／八重洲／日本橋 等）では、注目の複合スペースやランドマーク、ギャラリーなど13の会場で多彩な展示を行います。歴史的な建築物や東京を象徴する場所が多数あり、回遊しながら展示を見ていただくにも素敵な新しい開催エリアをぜひ楽しみください。

### ザ・コンランショップ 丸の内店にて HAYのポップアップを開催

世界中から厳選した家具や照明、インテリアアイテムに加え、オリジナルアイテムも多く取り揃えるホームファニッシングショップ「ザ・コンランショップ」。丸の内店では、世界中のデザイナーと協業しながら、個性的で優れたインテリアプロダクトを提案し続けている「HAY」のポップアップショップを開催。家具や照明、キッチンウェアからギフトまで、様々なプロダクトをご紹介します。

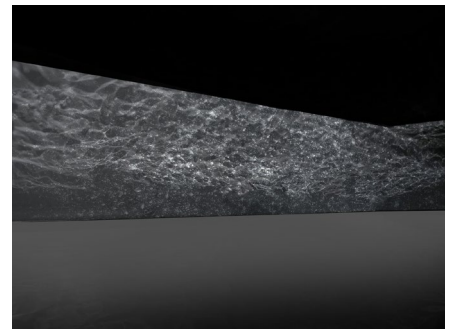


会期：10/20～2024 1/15まで  
会場：ザ・コンランショップ 丸の内店  
東京都千代田区丸の内1-5-1  
新丸の内ビルディング3F・4F

### REDESIGN of BLIK NIPPON STEEL x ATSUHIKO YONEDA DESIGN

ブリキは、缶詰や飲料缶などにも使われる素材ですが、近年はアルミやPETをはじめとする樹脂素材などに置き換わりつつあります。しかし、実は「鉄素材」であるブリキは、他素材に比べ非常に環境コンシャスでサステナブルな素材なのです。

本展覧会では、日本製鉄（NIPPON STEEL）とインダストリアルデザイナーの米田充彦が、その新たな可能性をデザインスタディして、ブリキ素材の可能性を議論するきっかけを作り、鉄の環境優位性ととも新しいライフスタイルの在り方をリデザインします。会場ではブリキ素材のインスタレーションとともにプロトタイプと鉄素材の環境情報を展示。また、開催初日の20日には、パネルディスカッションやオープンレセプションを開催予定です。



会期：10/20～10/29（一般公開は21日土曜日から）  
会場：KESHIKI 東京都中央区日本橋兜町 6-5兜町第6平和ビルB1（同ビル1階Pony Pasta店内階段からアクセス）



### USM Green Lounge

1885年創業のメイド・イン・スイスの家具ブランドUSM。代表的なUSMハラーは、高品質素材、普遍的なデザイン、そしてフレキシブルな汎用性と機能性で、モジュラーシステム家具のパイオニアとして知られています。さまざまな空間に適応し、パーツの交換・拡張・組み換えができるため、長期にわたって使い続けられる構造特性は、真にサステナブルな家具であることを証明しています。会場となる東京ショールームでは、オプションの一つである植物を設置できるワールド・オブ・プランツを組み込んだUSMハラーで、バイオフィリックデザインを取り入れた空間「Green Lounge」を演出し、そのフレキシブルな汎用性と機能性に触れていただきます。また期間中は、スイスの高級コーヒーメーカーJURA社のコーヒーをお試しいただけます。グリーンに囲まれた自然を感じる空間で、バリスタレベルのコーヒーをリラックスして味わいながら、USMハラーのタイムレスなサステナブルデザインの可能性を感じてください。

会期：～ 11/3まで  
会場：東京都千代田区丸の内2-1-1  
丸の内MY PLAZA 1・2F



## Where We Are -ヤマハデザイン研究所60周年企画展-

音・音楽に関わる様々な製品を開発するヤマハ株式会社のデザイン部門が2023年に創設60周年を迎えました。その反応を肌で感じ、自らのアイデンティティを鍛えるため「ヤマハのデザイナーならこう考える」といったプロトタイプを製作し、広く世界に発信してきた直近20年間のプロトタイプを通して、思索の足跡を俯瞰すると同時に、ミラノデザインウィーク2023で発表した最新作『楽器と共に暮らす家具のようなもの』を国内初展示します。

会期：10/21～10/23

会場：アクシスギャラリー

東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F

## 「からくりの森 2023」

昨年も大好評だった「からくりの森」の第2回目となる本企画展は、セイコーの技術の中でも長い歴史を持つ「機械式腕時計」を題材として、「機能の先に宿った時計の魅力」に焦点を当て、3組の外部クリエイター nomena, siro, TANGENT, そしてセイコーデザイン部が作品を制作。展覧会ディレクター・平瀬謙太郎がそれらの作品を「Seiko Seed」という空間に構成しました。現代に至るまで、脈々と進化を続けてきた「からくり」技術の先に宿った多様な魅力が実感できる展示となっています。



会期：10/13～12/24

会場：Seiko Seed 東京都渋谷区神宮前1-14-30 WITH HARAJUKU 1F

## DESIGNART TOKYO 2023 オフィシャルカー 新型「クラウン」シリーズを展示

今年もインフォメーションセンターとして、そしてオフィシャルエキシビション「ASIA CREATIVE RELATION」の会場として、多くの来場者が集まるワールド北青山ビル。青山通に面したそのファサードに、2022年に登場した16代目新型クラウンが、DESIGNART TOKYO 2023のオフィシャル・カーとして登場します。クラウンは、その革新と挑戦のDNAのもと、今の時代の価値観に寄り添い、日本らしい美学を持つ多様な選択肢を持つ4つのモデルと共に、日本発のグローバルブランドとして生まれ変わりました。会期中、新型クラウンの特別展示と併せ、エリア内を巡回しますので、ぜひご覧ください。

※オフィシャルカーとしてCROWN “CROSSOVER”、CROWN “SPORT” が登場予定(車両は変更となる場合がございます)



CROWN “SPORT”  
CROWN “CROSSOVER”

俊敏でスポーティな走りが楽しめる、新しいカタチのスポーツSUV  
乗り降りや運転しやすいパッケージへと進化させたセダンとSUVのクロスオーバー

## DESIGNART TOKYO 2023 オフィシャルバッグ

コンピューショナルデザイナー堂園翔矢デザインによるDESIGNART TOKYO 2023のキービジュアルを、特別なバッグにしました。インフォメーションセンターのワールド北青山ビルにて数量限定でお配りしています。ぜひ、会場を回る散策のおともに、ガイドマップを入れてご利用ください。

協力：株式会社ワールド

インフォメーションセンター：ワールド北青山ビル  
東京都港区北青山3-5-10



### DESIGNART TOKYO 2023 開催概要

会期：2023年10月20日（金）～10月29日（日）の10日間 ※プレスデー10月20日（金）

エリア：表参道・外苑前・原宿・渋谷・六本木・広尾・銀座・東京

主催：DESIGNART TOKYO 実行委員会

展示数：108 会場数：83（2023, 9,22現在）

参加クリエイター・ブランド数：約300名

発起人：青木昭夫（MIRU DESIGN）／川上シュン（artless）／小池博史（NON-GRID）／永田由郷（TIMELESS）／アストリッド・クライン、マーク・ダイサム（Klein Dytham architecture）

オフィシャルWEBサイト：<https://designart.jp/designarttokyo2023/>

※会場により会期、オープン時間、定休日など異なりますのでご注意ください。

#### SUPPORTER

J-WAVE 81.3FM

#### SPONSORS

THE LIONS

SANLORENZO

PAOLA  
LENTI



#### VENUE SPONSORS

interoffice



TOKYU PLAZA  
SHIBUYA



2023. 9.22 現在

#### DESIGNART TOKYO 実行委員会

107-0062 東京都港区南青山 2-15-19 フジハイツ402  
info@designart.jp <http://designart.jp>



[facebook.com/designart.jp](https://facebook.com/designart.jp)

#### 取材・掲載のお問い合わせ

担当 小高妃登美 [press@designart.jp](mailto:press@designart.jp)



[instagram.com/DESIGNART\\_TOKYO](https://instagram.com/DESIGNART_TOKYO)

#### イベントに関するお問合せ

[2023exhibitors@designart.jp](mailto:2023exhibitors@designart.jp)



[twitter.com/DESIGNART\\_TOKYO](https://twitter.com/DESIGNART_TOKYO)